

【学生の皆さんへ】

学長メッセージ「安全安心な大学生活を始めるために」

若者の安易な行動が、大学由来のクラスターを形成している事例が国内外で見られます。若年層は重症化しにくいという言説が、一部の若者の行動にブレーキをかけさせなかった要因と思われる。しかし、現在は若者も重症化する可能性があること、及び発症しない状態もしくは風邪のような軽い症状の若者が他者(とりわけ高齢者などの社会的弱者)にウイルスを感染させる主体となっていることが注目されています。

新型コロナウイルスにうつらないこと、うつさないことが自分及び他者の命を守るために今もっとも大切なことです。この病気は、無症状もしくは風邪のように軽い症状の感染者が、自分でそれと気づかずに、人に感染させる可能性があることを特徴のひとつとしています。後になって自分が、重篤化しやすい他者(家族や友達を含む)にウイルスをうつし、その人の命を奪う原因を作ったという取り返しのつかない思いをしないために、今何をなすべきか自ら考え、慎重に行動することを希望します。

4月20日(月)の授業開始日以後、安全安心な大学生活を本学で送るために、約2週間(4月7日(火)から4月19日(日)まで)、不要不急の外出を自粛するなど自己管理の徹底を本学学生すべてに要請します。この2週間は春休みや夏休みのような特別休暇ではありません。安易な行動をし、この2週間にウイルスに感染すること、さらにはクラスターを形成することがあってはなりません。

2週間の自己管理は、自分が感染している可能性があるという認識からスタートしてください。さまざまな地方から集まってきた皆さんの周りに感染者がいてもおかしくないし、自分が感染者になっていてもおかしくない。自分が感染者ではないという確認をする2週間であり、人にうつさないための2週間です。

新型コロナウイルスの脅威から自分の身を守り、人の身を守るために、3密(密閉・密集・密接)を避け、不要不急の外出の自粛を強くお願いします。外出先には不特定多数のヒト・モノがあり、感染するリスクや感染させるリスクが高いと予想されます。新入生にあっては、新生活を始めるにあたって特に不自由な思い、不安な思いをさせることとなりますが、世界中で多くの人が亡くなっていることを想い、自重してください。在校生にあっても、暖かい日差しが降り注ぐ陽春に戸外へ出たい気持ちを強く抑え、またアルバイトについてはなるべく自粛し、特に人と接触する機会のあるアルバイトについては強く自粛するようお願いします。

以上に加え、差別や偏見を持たぬこと、心身の健康管理に努めること、さらに大学生の本分である学びの精神を失わぬことが大切です。学生の皆さんが安全安心な大学生活を始められるよう本学教職員一丸となって、引き続き、取り組んで参りますので、御理解と御協力をお願いします。

令和2年4月6日

国立大学法人上越教育大学長 川崎直哉